

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福島艦株式会社（仮称）京都南物流センター新築工事	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区竹田中島町246番	構造	S造
用途地域	第二種住居地域，準防火地域	平均居住人員	60人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,100時間/年
建物用途	事務所，工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 0.0	評価の実施日	2017年4月23日
敷地面積	1,200 m <sup>2</sup>	作成者	井上 磨
建築面積	839 m <sup>2</sup>	確認日	2017年4月28日
延床面積	2,730 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 92%  
 ③上記+②以外の 92%  
 ④上記+ 92%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 敷地に建築可能な最大限の建物面積に対して、出来る限りの緑地面積を確保したり、周囲の自然と親しむ環境と地球環境負荷の低減に取り組んだ。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆の規格の建材を全面使用し室内に化学汚染物質の発生の無いように配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 室内の広さや階高の高さにゆとりを持たせ、空間利用の自由さ、維持管理のしやすさに配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周辺建物の配置や形態等のまちなみへの調和に配慮した
<b>LR1 エネルギー</b> 使用エネルギー量の削減の為、高効率機器、LED照明器具を採用しています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される